

新型コロナウイルス感染症感染防止対策について

令和2年7月8日

子ども会指導者クラブ「フレンズ」

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、次の対策を行ってまいります。

1 基本的な考え方

「フレンズ」のリーダー活動は、自ら気づき、お互いに気をつけることを大事にしています。このため、例年のキャンプ事前説明会で「危険予知トレーニング(KYT)」や、クリスマス会などの活動と同じで、「みんなが自分で気づき、おたがいに気をつけ、実際にやってみる」ことが大事だと考えています。

○活動の最初のプログラムで、いわゆる「3密」を避けるための活動について学ぶことから始めます。

○茨城県立さしま少年自然の家による「7月6日(月)以降の茨城県立さしま少年自然の家利用の留意点(新型コロナウイルスへの対応)」を土台に、越谷市の「越谷市における施設使用及び事業実施の目安」を遵守し、公益社団法人日本キャンプ協会の「キャンプ運営ガイドライン」を踏まえ、対応してまいります。

※それぞれ、ホームページにおいて公開されています。

○例年以上に、余裕あるプログラムを心掛けて実施します。

2 具体的な対応

| | |
|----------|--|
| キャンプ共通 | ○屋内では収容率50%以内、屋外では十分な間隔をとるようにします。 ○密集防止やソーシャルディスタンスについて各自が気を付け、声を掛け合います。 ○当日、発熱症状がある場合は参加できません。定期的に体温計測を行います。 ○マスク着用とし、場面ごとに消毒と手洗いを行います。 ○特に屋内において、窓を開け、換気を行います。 ○前に立ち説明する人のところにパーティションを用意することを検討しています。 |
| バス移動 | 乗車時に手指の消毒を行います。マスク着用とします。 バス会社(ジャパンタローズ)の対応として、「乗務員の体温計測・マスク着用・手指消毒」、車内アルコール消毒がなされます。 乗車する「日野セレガ」は車内空調による換気が徹底されます。 ※バスに乗車せず、会場に直接送迎も可能とします。ハガキに明記してください。 |
| 活動場所(屋内) | 間隔と窓をあけて行います。 |
| 食事 | 一方向に向き、間隔をあけて食べます。 |
| 風呂 | 時間をとり、子ども同士の間隔をあけて入ることとします。 |
| 寝る時間 | 例年より多くの部屋が確保できているため、間隔をあけ、ソーシャルディスタンスを確保します。また、換気を行います。 |
| 野外炊飯 | 水分補給をこまめに行いながら、マスク着用の上行います。 ※対策が困難な「流しそうめん」は、実施しません。 |
| 発熱時の対応 | まずは、別室で対応します。保護者の方に連絡をとり、熱がひかない場合は、お迎えをお願いする場合があります。 |
| その他 | 新型コロナウイルス感染症は、日々、状況と求められる対応が変化しています。その時点での対策を踏まえ、行っていきます。 |

※上記を守れない行動をした場合は、厳しく注意します。目に余る場合などは、途中でお帰りいただく場合もあります。